



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	Flagship棟	階数	地上6F
建設地	横浜市区役所二丁目1000番1, 1000番35, 鎌倉市岩瀬一丁目1番22	構造	S造
用途地域	工業地域, 準工業地域, 指定なし	平均居住人員	2,700 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,000 時間/年(想定値)
建物用途	事務所, 工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年9月 竣工	評価の実施日	2021年8月4日
敷地面積	14,621 m <sup>2</sup>	作成者	野村 啓一
建築面積	7,718 m <sup>2</sup>	確認日	2021年8月4日
延床面積	42,653 m <sup>2</sup>	確認者	野村 啓一

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.8**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

①参照値 100%  
②建築物の取組み 73%  
③上記+②以外の 73%  
④上記+ 73%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5  
Q1 室内環境: 4  
Q3 室外環境(敷地内): 3  
LR1 エネルギー: 2  
LR2 資源・マテリアル: 1  
LR3 敷地外環境: 1

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.3**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.4

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.8

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.6

**LR のスコア = 3.7**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.1

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.4

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
可能な限り緑地を配し、景観に配慮した。	0	
<b>Q1 室内環境</b> F★★★★をほぼ全面的に採用、VOCについても放散量が少ない建材を採用。	<b>Q2 サービス性能</b> 節水型器具を採用している。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 可能な限り植栽を計画し良好な景観を形成。
<b>LR1 エネルギー</b> LED照明設備を導入。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 省水型機器の採用。 躯体+軽鉄+仕上材のディテールを採用している。	<b>LR3 敷地外環境</b> 照明目的に合った照度を設定している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



### 4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <非住宅>

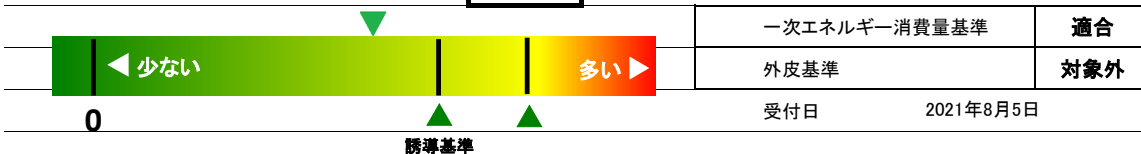
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 **Flagship棟**

#### 建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) **【省エネルギー性能】 4**

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量 **35** %削減



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

- ①BPI<sub>m</sub>=0.84
- ②トップライトを計画
- ③BEI<sub>m</sub>=0.65

#### 健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) **【快適・働きやすさ】 3**

■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

- ⑩昼光利用設備
- ⑪施設内禁煙

■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

- ⑫執務室の天井高2.9m+窓設置
- ⑬執務スペースの1%以上のリフレッシュスペース+売店

■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

#### 防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) **【防災】 4**

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

- ⑮免震装置を導入
- ⑯内装耐用年数 床:20年、壁:20年、天井:20年
- ⑰空調、換気設備の系統分け及び負荷容量を下げた運転も可能な計画

#### 地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) **【地域・まちづくり】 3**

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

- ⑲周辺のまちなみや風景にバランスよく調和している

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入



CASBEE横浜2017年版v.1.7  
Flagship棟

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート	実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	配慮項目	<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数		
Q 建築物の環境品質									3.3
Q1 室内環境									3.4
1 音環境				4.0	0.15	-	-		4.0
1.1 騒音				3.0	0.40	-	-		-
1.2 遮音				5.0	0.40	-	-		-
1.2.1 開口部遮音性能				5.0	0.60	-	-		-
1.2.2 界壁遮音性能				5.0	0.40	-	-		-
1.2.3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	-	-	-		-
1.2.4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	-	-	-		-
1.3 吸音				4.0	0.20	-	-		-
2 温熱環境				3.0	0.35	-	-		3.0
2.1 室温制御				3.0	0.50	-	-		-
2.1.1 室温	快適・働きやすさ		⑨温熱環境	3.0	0.38	-	-		-
2.1.2 外皮性能	快適・働きやすさ	健康・安心	⑨温熱環境 ⑤外皮性能	3.0	0.25	-	-		-
2.1.3 ソーン別制御性	快適・働きやすさ		⑨温熱環境	3.0	0.38	-	-		-
2.2 湿度制御	快適・働きやすさ		⑨温熱環境	3.0	0.20	-	-		-
2.3 空調方式	快適・働きやすさ		⑨温熱環境	3.0	0.30	-	-		-
3 光・視環境				2.9	0.25	-	-		2.9
3.1 屋光利用				2.2	0.30	-	-		-
3.1.1 屋光率	快適・働きやすさ		⑩光環境	1.0	0.60	-	-		-
3.1.2 方位別開口	快適・働きやすさ		⑩光環境	-	-	-	-		-
3.1.3 屋光利用設備	快適・働きやすさ		⑩光環境	4.0	0.40	-	-		-
3.2 グレア対策				3.0	0.30	-	-		-
3.2.1 屋光制御	快適・働きやすさ		⑩光環境	3.0	1.00	-	-		-
3.3 照度	快適・働きやすさ		⑩光環境	4.0	0.15	-	-		-
3.4 照明制御	快適・働きやすさ		⑩光環境	3.0	0.25	-	-		-
4 空気質環境				4.3	0.25	-	-		4.3
4.1 発生源対策				5.0	0.50	-	-		-
4.1.1 化学汚染物質	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	5.0	1.00	-	-		-
4.2 換気				3.3	0.30	-	-		-
4.2.1 換気量	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	3.0	0.33	-	-		-
4.2.2 自然換気性能	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	3.0	0.33	-	-		-
4.2.3 取り入れ外気への配慮	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	4.0	0.33	-	-		-
4.3 運用管理				4.0	0.20	-	-		-
4.3.1 CO <sub>2</sub> の監視	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	3.0	0.50	-	-		-
4.3.2 喫煙の制御	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	5.0	0.50	-	-		-
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-		3.8
1 機能性				3.7	0.40	-	-		3.7
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	-	-		-
1.1.1 広さ・収納性	快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	0.33	-	-		-
1.1.2 高度情報通信設備対応	快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	0.33	-	-		-
1.1.3 バリアフリー計画	快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	0.33	-	-		-
1.2 心理性・快適性				5.0	0.30	-	-		-
1.2.1 広さ感・景観	快適・働きやすさ		⑫機能性	5.0	0.33	-	-		-
1.2.2 リフレッシュスペース	快適・働きやすさ		⑫機能性	5.0	0.33	-	-		-
1.2.3 内装計画	快適・働きやすさ		⑫機能性	5.0	0.33	-	-		-
1.3 維持管理				3.5	0.30	-	-		-
1.3.1 維持管理に配慮した設計	快適・働きやすさ		⑫機能性	4.0	0.50	-	-		-
1.3.2 維持管理用機能の確保	快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	0.50	-	-		-
2 耐用性・信頼性				4.2	0.30	-	-		4.2
2.1 耐震・免震				4.8	0.50	-	-		-
2.1.1 耐震性	防災	⑮耐震・免震	5.0	0.80	-	-	-		-
2.1.2 免震・制振性能	防災	⑮耐震・免震	4.0	0.20	-	-	-		-
2.2 部品・部材の耐用年数				3.2	0.30	-	-		-
2.2.1 躯体材料の耐用年数	防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-	-		-
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-	-		-
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.10	-	-	-		-
2.2.4 空調換気ダクトの更新必要間隔	防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-	-		-
2.2.5 空調・給排水配管の更新必要間隔	防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-	-		-
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔	防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-	-		-
2.4 信頼性				4.2	0.20	-	-		-
2.4.1 空調・換気設備	防災	⑰信頼性	5.0	0.20	-	-	-		-
2.4.2 給排水・衛生設備	防災	⑰信頼性	5.0	0.20	-	-	-		-
2.4.3 電気設備	防災	⑰信頼性	4.0	0.20	-	-	-		-
2.4.4 機械・配管支持方法	防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-	-		-
2.4.5 通信・情報設備	防災	⑰信頼性	4.0	0.20	-	-	-		-
3 対応性・更新性				3.6	0.30	-	-		3.6
3.1 空間のゆとり				4.6	0.30	-	-		-
3.1.1 階高のゆとり				5.0	0.60	-	-		-
3.1.2 空間の形状・自由さ				4.0	0.40	-	-		-
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.30	-	-		-
3.3 設備の更新性				3.4	0.40	-	-		-
3.3.1 空調配管の更新性				3.0	0.20	-	-		-
3.3.2 給排水管の更新性				3.0	0.20	-	-		-
3.3.3 電気配線の更新性				3.0	0.10	-	-		-
3.3.4 通信配線の更新性				3.0	0.10	-	-		-
3.3.5 設備機器の更新性				5.0	0.20	-	-		-

# CASBEE<sup>®</sup>横浜 | 評価結果 | 3-052



CASBEE横浜2017年版v.1.7  
 Flagship棟

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	-		



CASBEE横浜2017年版v.1.7

Flagship様

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
		<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>				-	0.33	-	-	
1 生物環境の保全と創出		地域・まちづくり	⑧生物環境の保全と創出	1.0	0.30	-	-			1.0
2 まちなみ・景観への配慮		地域・まちづくり	⑨まちなみ・景観への配慮	4.0	0.40	-	-			4.0
3 地域性・アメニティへの配慮				2.5	0.30	-	-			2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		地域・まちづくり	⑩地域性への配慮	3.0	0.50	-	-			-
3.2 敷地内温熱環境の向上		快適・働きやすさ	⑪敷地内温熱環境の向上	2.0	0.50	-	-			-
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>				-	-	-	-			3.7
<b>LR1 エネルギー</b>				-	0.40	-	-			4.1
1 建物外皮の熱負荷抑制		省エネルギー性能	①建物の熱負荷抑制	4.6	0.20	-	-			4.6
2 自然エネルギー利用		省エネルギー性能	②自然エネルギー利用	4.0	0.10	-	-			4.0
3 設備システムの高効率化		省エネルギー性能	③設備システムの高効率化	4.5	0.50	-	-			4.5
4 効率的運用				3.0	0.20	-	-			3.0
集合住宅以外の評価				3.0	1.00	-	-			-
4.1 モニタリング		省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-			-
4.2 運用管理体制		省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-			-
集合住宅の評価				-	-	-	-			-
4.1 モニタリング		省エネルギー性能	④効率的運用	-	-	-	-			-
4.2 運用管理体制		省エネルギー性能	④効率的運用	-	-	-	-			-
<b>LR2 資源・マテリアル</b>				-	0.30	-	-			3.4
1 水資源保護				3.4	0.20	-	-			3.4
1.1 節水				4.0	0.40	-	-			-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-			-
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.70	-	-			-
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.30	-	-			-
2 非再生性資源の使用量削減				3.6	0.60	-	-			3.6
2.1 材料使用量の削減				5.0	0.10	-	-			-
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	-			-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	-			-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	-			-
2.5 持続可能な森林から産出された木材				3.0	0.10	-	-			-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				5.0	0.20	-	-			-
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.2	0.20	-	-			3.2
3.1 有害物質を含まない材料の使用				5.0	0.30	-	-			-
3.2 フロン・ハロンの回避				2.5	0.70	-	-			-
1 消火剤				-	-	-	-			-
2 発泡剤(断熱材等)				2.0	0.50	-	-			-
3 冷媒				3.0	0.50	-	-			-
<b>LR3 敷地外環境</b>				-	0.30	-	-			3.4
1 地球温暖化への配慮				4.0	0.33	-	-			4.0
2 地域環境への配慮				3.0	0.33	-	-			3.0
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-			-
2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	0.50	-	-			-
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.0	0.25	-	-			-
1 雨水排水負荷低減				3.0	0.25	-	-			-
2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-			-
3 交通負荷抑制				2.0	0.25	-	-			-
4 廃棄物処理負荷抑制				4.0	0.25	-	-			-
3 周辺環境への配慮				3.2	0.33	-	-			3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-			-
1 騒音				3.0	0.33	-	-			-
2 振動				3.0	0.33	-	-			-
3 悪臭				3.0	0.33	-	-			-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-			-
1 風害の抑制				3.0	0.70	-	-			-
2 砂塵の抑制				3.0	-	-	-			-
3 日照障害の抑制				3.0	0.30	-	-			-
3.3 光害の抑制				4.4	0.20	-	-			-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				5.0	0.70	-	-			-
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-	-			-
<b>上記以外の重点項目</b>					-	-	-			-
<事務用途>					-	-	-			-
知的生産性向上への取組		快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組	4.0	-	-	-			-
<住宅用途>					-	-	-			-
健康と安心					-	-	-			-
1 化学汚染物質の対策		健康・安心	⑭健康対策	-	-	-	-			-
2 適切な換気計画		健康・安心	⑭健康対策	-	-	-	-			-
3 結露・カビ対策		健康・安心	⑭健康対策	-	-	-	-			-
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)		健康・安心	⑮防犯対策	-	-	-	-			-